

実習内容
ならびに
スケジュール

輸血・細胞治療センター

曜日	内容	担当	集合時間	集合場所
月	採血実習 細胞治療に関するミニレクチャー センター内見学 血液型検査実習	山原/吉原/池本	8:55	病院棟4階 輸血・細胞治療 センター
火	赤十字血液センター実習	兵庫県赤十字血液センター 西宮出張所職員	9:30	にしきた献血ルーム
水				
木				
金				

◎ 診療科名： 輸血・細胞治療センター

◎ 責任者氏名： 日笠 聡 センター長

◎ 指導教員氏名： 山原 研一 教授、吉原 享子 講師

◎ 実習概要

1. 採血実習、2.血液型検査実習、3.細胞治療に関する講義、4.血液製剤管理の実際、5.赤十字血液センター実習、6.輸血副反応（副作用）の講義などを行い、輸血・細胞治療領域において的確な診断と治療方針の立案を目指す。

(1) 採血、輸血検査実習および輸血・細胞治療に関する講義

月曜日9時00分～12時00分（病院棟4階 輸血・細胞治療センター）

輸血学臨床実習について説明を受ける。

細胞治療に関する講義を受ける。

輸血検査のため、お互いに採血を行なう。

輸血検査実習として、採血した血液を用いて、血液型判定を行なう。

「輸血療法実践ガイド」をもとに輸血について理解を求める。

(2) 兵庫県赤十字血液センター実習

にしきた献血ルームにて実施。

火曜日9時30分～（にしきた献血ルームに現地集合）

問診から診察、検査、献血、輸血用血液製剤の保管管理等、血液センターの業務の説明を受け、その理解を深める。可能であれば、献血する。

◎ 各診療科における到達すべき学修成果（アウトカム）

（臨床実習の授業概要「到達目標（アウトカム）」に準拠する）

輸血領域において

- ・血液型検査、交差適合試験について説明ができる。
- ・血液製剤の種類、使用目的、保存条件、取り扱いについて説明できる。
- ・輸血副反応（副作用）の病態、症状、治療ができる。
- ・輸血検査の実際を説明できる。
- ・採血の実際を説明できる。

◎ 準備学習ならびに事後学習に要する時間

- 内科教科書の輸血領域の総論を読んでもらうこと（2時間程度）
- 3年次の講義資料をよく復習すること（2日）
- 輸血領域の国家試験過去問を解いておくこと（3時間）

◎ 評価方法

知識、態度（積極性）、コミュニケーション、診察手技（Mini-CEX、DOPS、シミュレーターを用いた技能評価など）について評価。

評価基準をルーブリックで明示。

【知識★】

点数	基準
5	非常に優れて達成している。
4	やや優れて達成している
3	標準的に達成している
2	達成がやや不十分である
1	ほとんど達成できていない

【態度（積極性）★】

点数	基準
5	非常に優れて達成している。
4	やや優れて達成している
3	標準的に達成している
2	達成がやや不十分である
1	ほとんど達成できていない

【コミュニケーション★】

点数	基準
5	非常に優れて達成している。
4	やや優れて達成している
3	標準的に達成している
2	達成がやや不十分である
1	ほとんど達成できていない

【診察手技（Mini-CEX、DOPS、シミュレーターを用いた技能評価など）】

点数	基準
5	非常に優れて達成している。
4	やや優れて達成している
3	標準的に達成している
2	達成がやや不十分である
1	ほとんど達成できていない

◎ 中間評価とフィードバック

実施しない。

◎ 注意事項

- ・ 輸血・細胞治療センター（新病院棟 4 階）での実習は、8 時 55 分までに集合する。
- ・ 検査結果を記載するので、筆記用具を持参すること。
- ・ 以下のグループは、輸血・細胞治療センターでの実習日を変更する。変更後の集合時間、場所および、実習内容は、月曜日の場合と同様である。火曜日の実習は献血ルームで行なう。対象のグループは、集合場所、集合時間等の資料を前日に配布できないため、Moodle にて確認する。

グループ	変更前日程	変更後日程
8G	2026/11/9（月）	2026/11/13（金）
10G	2026/11/23（月）	2026/11/25（水）

- ・ 以下のグループは、献血ルームでの実習日を変更する。

グループ	変更前日程	変更後日程
7G	2026/11/3（火）	2026/11/6（金）